

令和 6年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (スタジオパレット) 作成日時 (令和 6 年 9 月 5 日)

代表	施設長	本部
風間	山本	田中

令和 5年度 改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・知的、精神、身体その他様々な障がいに対応し、御本人、御家族のニーズを個別支援計画に反映させ、明るい未来に向けて「やわらかく」支援していく。 ・本人、保護者、相談支援専門員やその他関係機関と連携し、今の安心から将来の安心へ繋げられる様な支援を継続していく。
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性と個別の評価に基づいた支援について改めて整理し、わかる・できる機会を増やすことで安心と自尊心を高められる支援に努める。 ・本人の生活や生き方を豊かにするお手伝いとして、事業所内での支援だけでなく生活全般を見据え、関係機関やご家族との交流や協働を意識していく。

項目	事業所内評価を踏まえた上での問題点	事業所内評価を踏まえた上での改善点
環境・体制整備	・概ね整備しているが、どのような環境で活動しているかご家族には見えていないのが現状。	・見学会の計画など、ご家族等の目で見えて意見をもらうことで、内部では気づけていない課題の整理が可能になる。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数、専門性等、情報がご家族には見えにくい。 ・職員の人数が少ない状況もあるが、1階2階で連携して対応している。 	・よりみちやお便りなどを使用して、スタッフの情報を伝えるなど、オープンな情報公開も検討。
適切な支援の提供	・個別化したプログラムの提供など事業所としては工夫しているが、実際の状況をご家族が見る機会がない。	・環境体制整備の項目道教に、見学会の計画などを検討。
関係機関との連携	・相談支援事業所との連携、自立支援協議会の企画する外部研修などへ積極的に参加している。	・今後もケースや研修などの機会を通じて、積極的に関係機関との連携を図っていく。
本人（家族）への説明責任等	・基本的な情報は提供してきていると思うが、丁寧な説明となると少し弱い印象。	・面談時など、意図的に疑問点に触れるなど丁寧な説明に努める。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の内容の固定化等による慣れから、連絡・報告が行われず計画に沿って動くような訓練になってしまっている。 ・ご家族への訓練時の情報提供ができていないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抜き打ちでの実施など、実践的な訓練も実施していく。 ・新たに行う防犯訓練も含め、ご家族への情報提供を徹底していく。



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にやるべきことはできておりスタッフ間の連携も図れている。新たに、学ぼうとする姿勢や関係機関との連携を図る体制は一定レベルである。 ・外部の見学者の受け入れや実習生の受け入れなどの実践からも、オープンな事業展開ができていく。

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に、ご家族にとって見える事業運営が行えているかという視点になるとまだまだ改善の余地がある。

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族等へ向けた見学会の計画などの検討 ・情報の発信媒体の活用方法の工夫と検討 ・支援の内容他必要な情報の丁寧な説明。 ・関係機関との関係の維持と機会に応じた積極的な参加。

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所としての内外の連携や支援、環境調整や体制整備等は都度取り組んでいる印象。 ・現状、大きなクレームや課題として取り上げるものはないという評価もできるが、見方を変えたと、意見するほど情報が見えていないということも言えるかと思う。

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族との協働に向けたオープンな事業運営の展開
----------	----------------------------------------------------------------------------